



学ぶべきは モノづくりへの執念

米沢支部の講演会と会員交流いも煮会は9月6日(日)、ホテルサンルート米沢で開催された。講演会は寒河江市・佐藤繊維の佐藤正樹さんを講師に「地域から世界へ」と題して講演。佐藤さんはオバマ大統領の就任式でミシェル夫人が着用したニットカーディガンの素材を製造したことでも名を知られている。講演の中で、イタリア視察時に学ぶべきものはモノづ

くりへの執念であり、差別化、高付加価値、世界でのオンリーワンを目指すこと。アメリカでの見本市では日本文化を表現し、良いものを客にどう見てもらうかの演出が必要。地域の時代を迎える、流行を追いかけるのではなく自分の作りたいものを作ること、自社独自品で勝負すべし、環境に合わせて進化したいと信念を披露した。

先づもつて、平成二十一一年六月二十八日の「米沢有為会」百二十周年の記念すべき時に我社が表彰をいただいた事に、改めて心から感謝を申し上げなければなりません。

恥ずかしながら、米沢在社でありながら「米沢有為会」の名を知つてはいても、その事業内容やそもそもその発足に関わる事柄などは全く知らずに過してきましたので、受彰のご連絡をいただいて初めて「米沢有為会」の崇高な精神に触れた、というのが正直な所でした。(小生が山形出身であることでご容赦の程)それにしても明治二十二年から百二十年間の永きに亘り寄宿舎と奨学金制度を維持、運営されてきたことは驚愕する事実で、同時にそのような会から表彰される事に大いなる誇りを感じた次第であります。

さて、当社は大正四年(一九一五年)二月創業で、丁度九十五周年を迎えた所ですが、昨年來「米沢有為会」の表彰を皮切りに九月、日本印刷産業連合会の「環境優良工場」および十月の「全日本シール・ラベルコンテスト」での経済産業大臣賞のダブル受賞、「世界ラベルコンテスト」の最優秀賞受賞、さらには今年一月の「山新3P賞」受賞と荣えある受賞が続きました。このように多くの受賞をいただ

いた事は初めての事でしたので少し面映い思いを抱きながらも、この大不況の厳しい状況下にありつて誠に有り難く、感謝の念を以つていただきました。受賞のために奇を衒つたようなこと、為にするようなことは何もしていませんし、素より当社の自慢話をするつもりは毛頭ありません。受賞の理由を自分なりに考えた結果、主題は「教育」にありと想い当たつたのです。当社は社歴が古い分だけ昔からのが体系的でなく、各部門毎の通ルールが沢山あり、しかもそれ達的なものや末端では個人的なルールもあって、極めて属人性な標準化とは程遠い「決り事」で運営されていました。これらを見直し、再構築しながら生産性を高め、品質向上を図つて来たことが評価された基礎になつてゐると思います。この間、「決められたルールに基づいて行つ」という極く当たり前の事を定着させたために、多くの時間とエネルギー、そして寛容と忍耐が求められました。寛容と忍耐は特性に若者に對して受容を求められることが多い、具体例として、ようやく基礎教育が終る入社二年後頃に離職する若者が多いとの事実です。これは、目の前の一ことに先づは一所懸命に努力してみると、いう事と自立する心の双方が希薄化している事を表

しているのではないかと考えています。誰しも入社後早い時期に流行病いの如く他所見したくなるものですが、以前は辛抱することを教育されてきました。職業とは有難いもの、得難いものという観念が根底にあつたようになりますが、現代日本は何處かにそれを置いてきてしまつたのではないかでしようか?皮肉にも今時「大不況」は職業觀を見直す契機になるかも知れません。脱線しました。「教育」、人を育てるということは時間とエネルギーの関数のように思います。企業にとつては大きなコスト負担を供います。しかし、その結果、仕事の達成感を得て自信を深め、眞の意味で仕事の楽しさを味わい、仕事に向かうアドレナリンを発する好循環を表現した社員は実際に活動としています。そのような様子を見る醍醐味は何ものにも得難いものです。職場の長として如何に多くの社員に眞の仕事の楽しさを味わせられるかが最大のマネージメントである心得ます。

米次有爲公
米源支那大文

第20号
平成22年2月25日
発行者
米沢有為会米沢支部
支部長 安部三十郎
米沢市金池5-2-25
☎ 0238-22-5111



「教育雜感」

精英堂印刷株式会社

鈴木高明

米沢有為会米沢支部だより

尾大太黄大太遠漆浦宇牛稻伊伊安雨安阿青會
形沼田木木木藤山山山澤村伊藤田部阿青會
修敏和太喜正健栄敏良秀昌喜敏昭
行篤浩郎聰義真裕一一宏修功治淳人記元悦廣
小小小後小小桑朽木木神金子加加柏倉小野
林林林藤関出原木村尾藤吉藤利精公一新八論
英敏一定道君子慶喜兼悟正研司吉宏昭夫
喜洋孝郎雄武博正美司研利夫
正茂洋雅知英俊裕充博繁喜研介長美吉則
清道磯司英睦博弘力繁一郎
中德寺手縮玉玉玉滝高高高木曾根情野鈴木鈴木鈴木
條重島塚虫橋上口高橋高橋高木曾根情野鈴木達ノ助隆
淳和美文良博利浩義正秀茂伸養一涼子佐子
子浩仁雄夫明幸恭一洋志之之助
渡我米吉横山山山丸前本堀星舟山長谷川布新行中
部妻野田山口川山山田江野千裕和
英秀真芳直義敏信健勝昭千裕和
之彰司弘人宏勲春也二市浩剛彰秋智行寧惇栄

(社)米沢有為会は創設一二〇周年を迎えた。これを契機に会員倍増キャンペーンを実施しています。会員みんなが一人一名ずつの会員募集に協力くださるようお願いいたします。

現在、会員は全国で一二七〇名ほどで、米沢支部会員は六五二名です。

会員の皆さまには、歴史と伝統ある本会の人材育成事業

新しく会員になられた方々

を誇りとし、今後も継続されるよう一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

普通会員

年額 三,〇〇〇円

特別会員

年額 七,〇〇〇円

賛助会員

年額 一〇,〇〇〇円

米沢支部役員一同

(平成二十二年二月九日現在)

会員倍増キャンペーン

～活躍する会員紹介～⑧

山形県立米沢工業高等学校長



本校の沿革の一項目に「明29.8 有為会と米沢絹織物協同組合の発議に基づき……」とあります。有為会は本校の産みの親です。以来113年、多くの有為な人材を世に輩

出してきました。そして今年、これまでの取組に新たな一頁を加えることが出来ました。電気自動車の製作です。

これは、本校が取組む「ゼロエミッションプロジェクト」の一環として、地元企業の協力を受けながら、工業クラブの23人が一年半がかりで完成させたものです。色は「フェラーリレッド」に近い深紅色で、ドアが斜めに上がるガルウィングです。リチウムイオン電池を搭載し、最高時速60キロで30キロ走ることが出来ます。今後は公道を走らせる目標にして、様々な走行テストや認証を取るために改造に取り組んでいます。

このプロジェクトは校庭に設置してある風車や太陽電池パネルで電気を起こし、環境に優しい電気自動車を走らせます。二酸化炭素が全く出ません。近未来のシステムであり、車であると言えます。この夢のような車の製作を高校生が一丸になって挑戦し、

小野庄士

ものづくりの楽しさ・達成感・充実感そして感動を手にしました。特に、多くの部品（車体からミッションまで）を独自に製作したことから、多くの方々から賞賛され、発表会での生徒らの顔は自信で満ちあふれておりました。

世界同時不況の影響により、米沢の基幹産業にも激震が走っています。高校生の就職戦線も前年とは大きく様変わりをしました。こんな時はしっかりと足元を固め、来るべき変化に備えなければなりません。電気自動車の製作は、多くの課題も見つかり、いい勉強になりました。今年とも、ものづくり人材育成に努めますので、御支援・御協力を心からお願い致します。



120周年記念事業協賛金のお願い

有為会の事業を充実した形で次世代に引き継いでいくためにも
ご協力よろしくお願いします。

皆様もご承知の通り昨年米沢有為会は120周年事業として、東京・仙台興譲館の大規模改修を行い、すでに学生たちは快適な環境で学業に励んでおります。

さらに今年度以降には我妻栄記念館の補修工事、また来年に制度100周年を迎える奨学金貸与制度の拡充を図る等、会本来の目的を遂行するため多額の出費が予定されています。

これらに対応し、財政基盤をより強固にして会の安定的運営を図る目的で協賛金の募集が行われることに

なりました。会員の皆様にはすでに依頼状と振込用紙が発送されお手元に届いていることでしょう。

期間は平成21年12月1日から平成22年11月30までの1年間、個人会員は一口5千円で二口以上、法人会員は一口3万円で一口以上お願いしております。目標額は2000万円で、厳しい環境ではありますが有為会の事業を次の世代により充実した形で引き継いでいくためにも会員をはじめ趣旨に賛同される多くの方々のご協力をお願いします。

川西町 松岸吉晴

東京興譲館寮の 思い出



私は昭和二十二年四月に東京歯科大学に入学したものの当時の住宅事情や食糧難の為、房総東線八積駅より約一里程歩いた所の土陸村に叔母が居つたので、そこから市川迄約二時間(徒歩の分を含むと三時間近く)かけて二十五年三月迄通学しました。二十五年四月歯学部入学後は水道橋迄通学でどうしようかと思案にくれてた所、二十四年秋に東京興譲館が再建され、置賜出身の学生なら入舎可能の話をきき早速訪れた所、同じ中小松の金子芳雄さんと中学で同級生の大場純一さんが居られ事情を話した所丁度欠員が出た所で、北村館長より御許しを得、五月より寮生となつた次第です。長井中学卒でどうかと思つた所置賜人と云う事で肩身のせまいと思ひもせず、二十九年の五月迄伸びのびと過させて戴き御蔭で今日あるものと感謝してます。当時の寮の様子を偲んでみますと、玄関突き当たりに寮母室、右側に会議室、その奥が食堂。

故郷に帰り大分経てから小関薰さんが東京興譲館会を企画され、寮母さんと足立屋（米屋さん、ざっこ屋（金木）さん等）を招待され、その後も開催の温泉地へ招待しましたが、佐藤小母さんと御子息夫婦、それに金木さん御夫婦と二人の娘さん計七人は良く御出席下さいました。その佐藤小母さんも二十年九月に他界され、金木栄治さんも昨年鬼籍に入りました。佐藤小母さんは最後にOB会に来られたのは、平成十二年九月三十日の玉庭のサンマリーナで、その後体調をくずされ出席出来ませんでした。私達興譲館舍生の時代

左側は一、四号室六畳で突き当りが七・五畳で五号室は三人、会議室も八畳で三人部屋で計十四人の寮生でした。そして驚くことにには十四人の内長井中高卒が五人も居た事です。二十五年五月頃寮母は勝見さん（高橋宏館長の御親戚か？）が御子息二人と一緒に居られましたが、間もなく退職され、吉田さんと佐藤さんが舍生の世話ををして下さいました。吉田さんが退職後佐藤さんと山口さんが舍生の世話を下さいました。當時食糧事情の悪い中、食欲旺盛な若者の為大変な御苦労をされた事と思い、ます。當時水道は時間給水で、小母さんが翌日の為鍋にお汁の水、御飯釜に水をはつておく習わしだが、夜飲酒の後水道が出ない場合、お汁の水は未だ良いとして御飯の水を飲んで、それを知らない小母さんが炊いてビックリ「メッコメシ」それでも皆笑い出すと本当に良き友人と青春を過ごせたと思います。



は物はありませんでした。が心は
豊かだったとしみじみ思います
　　昨年十一月十五日百二十年記念式典に参加(画)し、改めて生
人の郷土を想う心とその偉業に感謝した次第です。今その跡を
つぎ有為会の事業を益々发展充実させて行くのは我々OB会員の
責務と思つて居ります。会員倍増運動が行なわれて居る現時
点でOB八百人中会員となつてゐるOBは三百人位。残る五百人
は未入会との事実は誠になげかわしい次第です。又OB以外の
支援して下さる一般の会員、創設時の先輩に対しても申訳ない
話です。事務局も大変でしょ
が、OB会員連絡の時には趣意書と入会申込書を同封し勧誘する
たら如何でしょう。寮に世話を
なつた人は相当の社会的地位を
在る筈です。要は心の問題で会
後後輩の育成の為にも食い逃げ
の様な行為はなくし度いもので
す。そして特別会員位になつて
協力しようではありませんか。

米沢有為会米沢支部だより

まちの話題

まちなかに「戦国の杜」オープ

米沢市の中心街にあるボロ館に「戦国の杜」武士（もの）がこの春オープンする。

昨年は、天地人の放映により米沢市を訪れる観光客が急増し、上杉の城下町として県内外に知られた。

天地人効果をさらに高めようと、天地人博の収益金を充て計画されたもので、天地人博の資料の一部を活用しながら、娛樂性を高め進めていく。

中身は、戦国なりきりスタイルアム、地元陶芸作家の武将陶人形、「花の慶次」リトグラフ等の展示、戦国予定で四月中の開館を目指し、準備が進められている。

市民ミュージカル公演
本市で初の市民ミュージ

カル「フェイス 未来をつむぐ実験室」が、五四、五日の両日置賜文化ホールで上演される。

これは、大正時代人絹の発明に命をかけた科学者の物語である。

市制百二十周年、山大工学部創立百周年を記念しての取り組みとなる。

一般公募した六歳から六十四歳までの出演者四十数名が連日夢を膨らませながら稽古に励んでいる。

「愛」をテーマの川柳に
一万六百五十句の応募

米沢市芸術文化協会では、

第二回「愛」をテーマにし

た川柳の全国公募を行った

ところ、国内外から一万六

百五十句もの応募があつた。

このほど、その表彰式がよ

ねざわ市民ギャラリーで行

われた。

一般の部では、人位賞に

米沢中央高校一年真鍋雄至

さんが選ばれた。又、ジュ

ニアの部で天位賞に輝いた

人位賞 永遠の愛が氷点下

（南原小学校六年）

人位賞

（青森県平川市）

人位賞

（山宮）

東京興譲館寮入寮生募集

資格／東京または東京近郊の大学（2部を除く）に進学の男子学生（在学者も可）及び大学院生、または入学予定者
募集人員／5名

寮費（月額）／4～11月 42,000円、12～3月 43,500円
面接選考日／3月13日（土）及び3月24日（水）

面接場所／東京興譲館

応募書類、締切り日等の詳細の問合せ先／

東京興譲館 TEL.03-3309-3302

米沢有為会米沢支部（米沢市役所秘書広報課内）
TEL.0238-22-5111（内線2011）

仙台興譲館寮入寮生募集

資格／仙台市内または仙台近郊の大学、短大、専門学校に進学の男子学生（在学者も可）及び大学院生、または入学予定者
募集人員／5～8名

寮費（月額）／夏季 37,000～41,000円前後
冬季 40,000～44,000円前後

面接選考日／3月20日（土）

面接場所／仙台興譲館

応募書類、締切り日等の詳細の問合せ先／

仙台興譲館 TEL.022-222-4790

米沢有為会米沢支部（米沢市役所秘書広報課内）
TEL.0238-22-5111（内線2011）

米沢有為会奨学金貸費生募集

対象／4月に大学・大学院への入学予定者、または大学生・大学院生

貸費額／月額4万円

募集人員／5名程度

面接選考日／3月27日（土）

面接場所／伝國の杜 会議室

応募書類、締切り日等の詳細の問合せ先／

米沢有為会本部 TEL.03-3309-3302

米沢有為会米沢支部（米沢市役所秘書広報課内）
TEL.0238-22-5111（内線2011）

詳しくは下記ホームページをご覧になるか、所属高等学校の進学指導担当の先生にご相談ください
社団法人米沢有為会 ホームページ <http://www.yonezawa-yuuikai.org/>

編集後記

▼今号は「モノづくりの心」について考えさせられた。会員交流会での佐藤社長の講演や、活躍する会員での米工生による電気自動車の製作。貫く信念が感じられる。

▼我が国は原材料・資源に乏しく、技術によって成長してきた。この源が伝統のモノづくり技術であった。米沢市は東北地方有数の製品出荷額を誇っているモノづくりのまちである。理工系はなれが懸念されている今こそ「モノづくりの心」を再認識する必要がある。